



みなみ

南小の校訓：ほんきに なかよく がんばる



石岡市立南小学校
学校だより No.13
発行日 2023.10.6
文責 校長(山口)

運動会でのご協力に感謝

9月30日 石岡運動公園多目的グラウンドにおいて、第48回運動会が開催ができました。記録的残暑により、グラウンドでの練習時間はかなり限られ、教室内で動きのシミュレーションや、オンラインを活用するなどして準備を進めてきました。暑さ寒さも彼岸までの言葉通り、後半は少しずつ外での練習ができるようになりました。28日には運動公園での予行練習も実施し、児童の気持ちは高まってきました。

運動会当日は予想以上の晴天で、WBGT値が心配でしたが、思いのほか値は上がりず、熱中症の症状で救護テントに来る児童はいませんでした。保護者の皆様が児童の体調管理を気遣い、また飲み物等十分に用意して頂いたおかげで、体調不良者も最低限に抑えられたと感じております。児童の活動を支えて頂き、本当にありがとうございました。

各種目では、低学年児童のかわいらしさ、中学年児童の伸びやかさ、高学年児童のたくましさや躍動感など、それぞれの発達段階での良さが存分に発揮されていたと思います。小学校ならではの6年間の成長の幅を楽しんで頂いたのではないのでしょうか。児童も保護者の皆様に見守って頂いたことで、いつもより張り切った、のびのびとした活動の様子がみられました。

また、保護者の皆様方には、会場使用上の留意事項にもご配慮頂くだけでなく、駐車場整理や受付、運動会後のテントやコーン等の片付けへのご協力を頂き、感謝いたします。皆様のおかげで、職員の負担もかなり軽減いたしました。ありがとうございました。



コミュニティ・スクールと学校支援応援団について

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）とは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地教行法第47条の5）に基づいた仕組みです。

次年度より、石岡市内全小中学校でこの制度が導入される見込みで、先日、学校長やPTA会長らを対象とした説明会が行われたところです。次年度には、南小学校の学区が広がるとともに、地域の資源を生かした教育にも幅が生まれると思います。今まで南小学校で大切にしてきた地域資源を生かした教育実践に加えて、高浜、三村、関川の各小学校で大切にしてきた実践を取り入れながら、地域と共にある学校づくりを構築して参りたいと思います。

子供たちの豊かな成長のためには、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進が大切だといわれています。「地域学校協働活動」とは、地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに

に、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。市ホームページ「石岡市学校支援応援団募集のお知らせ」が掲載されています。この学校支援応援団が、地域学校協働活動を支える人材バンクの役割につながっていきます。下のリンクを参照のうえ、保護者や地域の皆様方にご理解とご協力頂き、今年度や次年度からの登録を視野に入れていただけるとありがたいです。

https://www.city.ishioka.lg.jp/kosodate_kyoiku_sports/kyoikuiinkai/page009808.html

職員の異動がありました

船橋遥香先生の後補充として、約1月間勤務していた坂元淳一先生の任用期間が終了しました。10月1日付で川口亮成先生が着任し、引継ぎを経て2年2組の担任となりました。保護者の皆様には様々な配慮を頂いていますことに感謝申し上げます。引継ぎ後の学級運営に関しましても、組織的に対応してまいりますので今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。



学期を一つの節目として

今年度から石岡市内全校で2学期制が採用され、本日その節目である終業式を迎えました。各担任から児童一人一人に通信票を渡しました。1学期の記載事項は、各教科の評価・評定が中心となります。毎日の各教科での評価の蓄積と、テスト等で確認できる定着状況等を活用しての総合的な判断です。評価・評定は、あくまでも各教科の枠組みの中で、学習指導要領に準拠して児童の資質・能力等を評価したものです。後期に向けた取組への参考にして頂けたら幸いです。

本日、リモートにて終業式を実施しました。以下に、終業式での校長式辞を掲載します。

人が成長するためには、自分の行動や活動を振り返り「できたこと」や「変えていきたいこと」を整理し、見通しをもつことが大切だといえます。

皆さんは、メジャーリーグで活躍している大谷翔平選手を知っていますか？。二刀流での活躍は、世界を驚かせていますね。先日、日本人選手として初めてのホームラン王にもなりました。この図は、その大谷選手が高校1年生の時、将来のプロ野球選手を目指して、自分の今を振り返り今後目指す事を書いたものだそうです。目標に対して、身につけたい8つのポイントを決め、それぞれのポイント達成のために実行すべき8つの項目を書いたものです。自分がすべき様々なことは64項目にわたり書き留められています。高校の3年間で16枚書き記し、レベルアップを図っていたようです。大谷選手も、

野球をやっていたらなんとなくメジャーリーガーになったわけで無く、細かな目標を沢山立て、それを実行することで夢を実現したのですね。先日、大谷選手の手術が成功したそうです。長いリハビリを経て、再びグラウンドに立って活躍していくことでしょう。大谷選手は復帰と共に今年度以上の活躍を目指して、そのための細かな目標を沢山立てて、取り組んでいくのだと思います。

大谷選手のように、細かな目標が立てられるようになるには、自分自身を知り、振り返って考える習慣をつけることが大切です。振り返りには、例えば1時間や1日といった短い時間単位とするものと、3カ月や半年、1年といった比較的に長い時間とするものなどがあります。

今日の終業式は、振り返りの節目となる日です。約6カ月間あった前期の期間で、何ができるようになって、次に目指すものは何かを、しっかり整理することが大切だと思います。この後、各担任の先生方から通信票が渡されます。担任の先生からの話を聞いて、振り返りの材料として活用してほしいと思います。

図の出典：<https://president.jp/articles/-/26202?page=1>

大谷翔平(高1当時)が書いたオープンマインドク64

項目	マインドク	マインドク	マインドク	マインドク	マインドク	マインドク	マインドク	マインドク	マインドク	マインドク	マインドク	マインドク	マインドク	マインドク
1. 自分が目指す選手	大谷翔平	大谷翔平	大谷翔平	大谷翔平	大谷翔平	大谷翔平	大谷翔平	大谷翔平	大谷翔平	大谷翔平	大谷翔平	大谷翔平	大谷翔平	大谷翔平
2. 自分が持っている強み	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球
3. 自分が持っている弱み	変化球	変化球	変化球	変化球	変化球	変化球	変化球	変化球	変化球	変化球	変化球	変化球	変化球	変化球
4. 自分が目指す強み	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球
5. 自分が目指す弱み	変化球	変化球	変化球	変化球	変化球	変化球	変化球	変化球	変化球	変化球	変化球	変化球	変化球	変化球
6. 自分が目指すポイント	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球
7. 自分が目指す項目	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球
8. 自分が目指す目標	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球	速球

● 数字の付いた項目は、目標達成のために取り組むべき項目です。
○ 数字の付いた項目は、目標達成のために取り組むべき項目です。